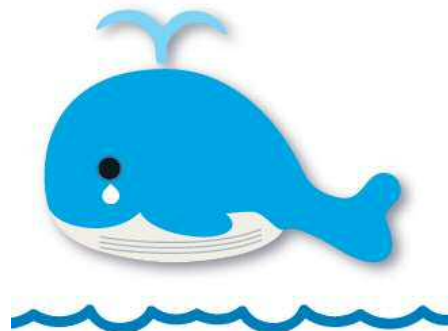


「かながわプラごみゼロ宣言」in 鎌倉 ～ 海からSDGsを考える ～

2018年夏、鎌倉市由比ガ浜でシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが発見されました。「SDGs未来都市」である神奈川県と鎌倉市は、この出来事を「クジラからのメッセージ」と受け止め、それぞれ「プラごみゼロ宣言」を行い、マイクロプラスチック問題に連携して取り組んでいます。



その一環として、持続可能な社会(SDGs)につながる、プラスチック問題について様々な視点から議論するフォーラムを開催します。地元湘南の美しい海を守るために、身近なプラごみの問題から一緒に考えていきましょう!!

日時：平成30年11月2日(金)14時から17時 (13時30分開場)

場所：鎌倉市鎌倉生涯学習センター(きらら鎌倉)ホール

(参加費：無料、定員：先着260名)

主催：神奈川県、鎌倉市

協力：公益財団法人かながわ海岸美化財団



プラごみゼロの取組はSDGsの達成に資する取組です。





開催概要

14時00分 主催者挨拶

14時10分 第1部：トークセッション

テーマ 「『プラスチックゼロ宣言』からSDGsを考える」

パネリスト 松尾 崇 鎌倉市長

山口健太郎 神奈川県理事(いのち・SDGs担当)

末吉 里花 一般社団法人エシカル協会代表理事

二瓶 泰雄 東京理科大学工学部土木工学科水理研究室教授

コーディネーター 川廷 昌弘 神奈川県顧問、博報堂DYホールディングスCSR推進担当部長、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン SDGs タスクフォースリーダー

15時40分 第2部：講演

テーマ 「プラスチックごみ問題の現状」

「神奈川の海岸ごみの実態」 柱本健司 公益財団法人かながわ海岸美化財団

「海洋プラスチック問題への取組み」 岸村小太郎 日本プラスチック工業連盟専務理事

「相模湾沿岸に漂着するマイクロプラスチック」 池貝隆宏

神奈川県環境科学センター調査研究部長

【特別講演】

「市街地と河川のマイクロプラスチック汚染」 二瓶泰雄

東京理科大学工学部土木工学科水理研究室教授

かながわプラごみゼロ宣言

- 1 コンビニエンスストア・スーパーマーケット・レストラン等と連携し、プラスチック製ストローやレジ袋の利用廃止や回収などの取組を進めていきます。
- 2 県内で行われる環境イベント等において、プラスチック製ストローの利用廃止や回収などを呼びかけていきます。
- 3 海岸利用者に対して、海洋汚染の原因となるプラごみの持ち帰りを呼びかけていきます。

(問合せ先)

神奈川県 政策局 政策部 総合政策課 045-285-0908

神奈川県 横須賀三浦地域県政総合センター 環境部 046-823-0354